

空襲・戦災を記録する会 全国連絡会議 第46回 仙 台 大 会

第1回東京大会は1971年。

今年で46回目を迎える全国大会は北は函館から南は那覇まで引き継がれ、今年には33年ぶりに仙台で開催されます。戦後70年を経た今年をリスタートと考え、広く市民の方々と空襲関係者が共に学びあい、情報を共有し合える場となることを目指しております。

大会概要

本大会 8月27日(土)13:00-18:30

- 1) 記念講演 8月27日 13:15～
「米軍資料から見た日本空襲と仙台」工藤 洋三氏
- 2) 東北3県からの報告
- 3) 全国各地の会の活動報告

シンポジウム 8月28日(日)9:00-12:30

「防空施設(防空壕・貯水槽等)と防空政策」

- ①小講演「防空壕と防空政策—東京を中心として」
青木 哲夫氏/東京大空襲・戦災資料センター
- ②連携研究報告
仙台 八王子 静岡 大牟田 ドイツ等

8月28日(日)

13:30～市内戦跡めぐり(防空壕跡地を中心に)
(終了予定時刻 16:00)



仙台市街地(1245) 米国立公文書館蔵

・参加申込 7月1日(金)より
1日目・2日目・市内戦跡めぐり、
それぞれ別に申込できます。
※定員になり次第申込終了といたします。

場所 仙台市戦災復興記念館・地下展示ホール

・参加費 一般・本大会 / 土日参加2,000円 1日のみ参加1,000円
学生 無料

・市内戦跡めぐり(地下鉄代、資料代 400円)

8月26(金)18:00-20:30 ・27(土)9:00-12:00
プレ企画・米軍資料研究会開催(※要申込・資料代1,000円)

主催:空襲・戦災を記録する会全国連絡会議 第46回 仙台大会運営委員会 (代表:新聞 昌利)

問合せ/申込先 TEL:022-243-0137 E-mail: sendai.ar46@gmail.com

協力: 仙台の戦災・復興と平和を語り継ぐ会

後援 / 宮城県 仙台市 仙台市教育委員会 (公財)仙台市市民文化事業団

仙台放送局 朝日新聞仙台総局 毎日新聞仙台支局 河北新報社

申込要項裏→

